

# 玄海原発3号機 蒸気漏れ事故

## 原子炉の即刻停止と徹底した原因究明を! 再稼働そのものの中止を!

3月30日19時頃、九州電力玄海原発3号機で蒸気漏れ事故が発生しました。

1週間前の23日、九電は住民の不安と反対の声を無視して、再稼働を強行したばかりでした。九電は25日に開始した発電と送電を「念のため」と称して停止しましたが、原子炉は止めていません。

二次系配管からの「微小な蒸気漏れ」であり「放射能の影響はない」と言いますが、損傷はどのようなものだったのでしょうか。九電は「全社を挙げて」安全対策を進めてきたと宣伝してきましたが、なぜ見つからなかったのでしょうか。原子炉を止め、徹底的に原因究明をし、何よりも再稼働そのものを中止すべきです。

●原発の配管損傷が重大事故につながりかねないということ、私達は裁判の中でも主張してきました。その中で分かったことは、配管の点検は10年で25%、4分の1しかしていない、つまり、40年の寿命が尽きる頃にやっと点検が一巡するというのでした。九電は審理の中で「全部を点検できるわけじゃないじゃないですか」と開き直りの発言もしましたが、異常がどこで発生してもおかしくないような緩い点検体制なのです。

いつまた大きな事故となり、放射能放出という事態になるのか、不安は増大するばかりです。

●今回、事故が報道されたのは、事故発生から4時間半以上経った昨夜23時半過ぎでした。

すぐに玄海発電所と九電本店に電話して状況を確認しようとしたのですが、発電所では警備担当にしかつながらず「次の営業日(3日後の月曜日)に電話をかけなおしてくれ」と言われました。まったくどういう神経をしているのでしょうか!短時間で事態がどんどん悪化していたら、多くの住民が被ばくを強いられるようなことになっていたかもしれないのです。本店も担当者につながらず、詳細な状況がほとんど分かりませんでした。

「事故が起きて、住民に対してただちに何かを伝えるということは一切しない」ということが、あらためてはっきり分かりました。

●プルサーマル運転を強行していた玄海3号機が

7年3か月前に止まったのは「放射性ヨウ素漏れ事故」があったからでした。しかし、九電は「定期検査の前倒し」という言葉でゴマカシ、その後も「定期検査で止まった」ということが、まかり通ってきました。

今回九電が使っている「微小」「念のため」などの言葉に私達は騙されません。

●これまでに、多くの専門家が「安全性」について警告を発し、住民もあらゆる場で不安の声をあげてきました。原発30キロの4市と3議会は「再稼働反対」を何度も言い続けています。これらをすべてすべて無視しての、「事故大前提」再稼働です。

現在、同意権は佐賀県知事と玄海町長にしかありませんが、事故が起きたら、加害当事者九電と同様に、同意した知事と町長の責任は重大です。

●3月23日、「原子炉起動」の日、多くの住民が発電所前や九電本店などに抗議文を持って駆けつけましたが、九電は受け取りを拒否し、市民の前に出てもきませんでした。住民と真摯に向き合わない傲慢な九電に私達の命の安全をゆだねるわけにはいきません。

玄海原発3号機原子炉の即刻停止と、徹底した原因究明、何よりも3・4号機の再稼働そのものの中止を求めましょう!

### ■みなさんからも電話で確認してください!

- ◆玄海原子力発電所環境広報課:0955-52-6821
- ◆九州電力本店:092-761-3031
- ◆九州電力本店エネルギー広報課:092-726-1585
- ◆九州電力佐賀支店:0952-33-1123
- ◆佐賀県原子力安全対策課:0952-25-7081
- ◆玄海町役場:0955-52-2111
- 放射能からどう避難したらいいのでしょうか?
- ◆佐賀県消防防災課:0952-25-7362
- ◆各市役所・町役場

### 玄海原発プルサーマルと全基を みんなで止める裁判の会

佐賀市伊勢町2-14 TEL:0952-37-9212 FAX:37-9213  
saiban.jimukyoku@gmail.com http://saga-genkai.jimdo.com/

### 玄海原発反対からつ事務所

唐津市朝日町1095-10 TEL:090-7926-5591  
no.nukes.karatsu@vc.people-i.ne.jp

# 玄海3号機蒸気漏れ

## 1再稼働 週間 九電、発送電を停止

九州電力は30日、玄海原発3号機(東松浦郡玄海町)の2次系設備の配管から、

微量の蒸気漏れを確認したと発表した。放射性物質の漏れはないという。3号機

は23日に再稼働したばかり。25日に再開した発電と送電を停止すると明らかにした。原子炉の停止は漏れ箇所を調査して

30日午後7時ごろ、2次系の水に含まれる酸素などのガスを取り除くための設備である「脱気器空気抜き管」から微少な蒸気漏れがあった。定期巡視中の運転員が目視で確認した。今後は準備が整い次第出力を下げ、31日早朝にも発送電を停止する。



は23日に再稼働したばかり。25日に再開した発電と送電を停止すると明らかにした。原子炉の停止は漏れ箇所を調査して

30日午後7時ごろ、2次系の水に含まれる酸素などのガスを取り除くための設備である「脱気器空気抜き管」から微少な蒸気漏れがあった。定期巡視中の運転員が目視で確認した。今後は準備が整い次第出力を下げ、31日早朝にも発送電を停止する。

3号機は4月5日にも約100%の定格出力運転になり、原子力規制委員会の最終的な検査を経て営業運転に復帰する見通しだった。九電佐賀支社は「いったん発電を停止して補修を行うため、発電開始までの必要な期間は延びる」と説明した。(林大介、大橋諒)

佐賀新聞

2018年3月31日

原発を止めるため  
私たちは裁判を闘っています。  
ともに仲間になってください。  
連絡を待っています!

連絡先:090-3949-2103(永野)



玄海原発プルサーマルと全基を  
みんなで止める裁判の会

〒840-0844 佐賀市伊勢町2-14  
TEL:0952-37-9212 FAX:37-9213  
mail:saiban.jimukyoku@gmail.com  
http://saga-genkai.jimdo.com/

